

## 第3回 藤井寺市地域公共交通会議 会議録

日 程：令和7年1月28日（火）9時30分～11時30分

場 所：藤井寺市役所 3階 305会議室

出席者：別紙参照

会議議題：1. 開会

2. 委員紹介

3. 議題 (1) 前回交通会議議事の振り返り

(2) 運行方法の検討

(3) 実証運行計画案の検討

(4) 今後のスケジュール案

4. 閉会

傍聴者：5人

### 議事内容

#### 1. 開会

猪井会長：あいさつ

#### 2. 委員紹介

・配布資料の確認

・代理出席者のみ報告し、委員18名の内17名の出席により本委員会の成立を報告。

#### 3. 議題

議事（1）前回交通会議議事の振り返り、議事（2）運行方法の検討

<事務局より説明>

#### 猪井会長

○今回は、第2回会議で設定した運行エリアに対し、車両に応じ道路条件を踏まえルート案を検討して頂いた。参考資料1には全案載っているが、資料にはそのうち可能性が高い小型バスによる1案、ワゴンによる1案、セダン型による1案を挙げている。

○前回会議では、市南部に位置する青山病院もフォローできればとの話もあったが、先ほどの事務局の説明では、藤井寺駅から送迎バスが1時間に1本程度走っており、乗車定員に未だ余裕があること、休止する予定も特段ないとの情報であった。現案のルートでも1時間程度必要であり、公共交通でカバーするとなると時間がかかり過ぎることから、今回案からは外しているとの事である。

○1周1時間を超える運行ルートになると急激に乗らなくなるという知見がある。これは他市で体験したことで、もともと70分で回っていたので、ルート再編で運行方法を変えて1時間に1本という形で運行すると、利用者が増えた。できれば1時間に1本がいいかと思う。

○今回は9ページ目の組み合わせについて、皆様からご質問ご意見をお受けし、絞っていきたいと思う。併せて、青山病院をルートから外すことや、ルートに組み込むべき施設についてもご意見頂ければと思う。

## 釈迦戸委員

○1回の運行でどのくらいの利用者がありそうか。

## 事務局

○次の議事に関係するので先行して説明する。

## 議事（3）実証運行案の検討

<事務局より説明>

## 小森委員

- 1つの推計値であるとは思いますが、このくらいの値なら定路線型まで必要ないのでないかと思う。
- 一方、デマンドで予約して乗るとき、他にどんな人が乗ってくるか分からないのと、予約が結構面倒なので、意外と使い勝手が悪いと思う。
- 予約はタクシー会社になるかと思うが、デマンド専用ではないので時間的に繋がりにくい場合もある。一度体験されてみてはどうか。
- この藤井寺に一番合ったものはどれか探していく中で、トライアンドエラーを続けながらやっていくのがいいのかなと思う。まずは市民が分かりやすい定期運行の方が、最初は入っていきやすいのかなという気がする。

## 井田委員

- これは一方通行で回るということか。一方通行だと、例えば駅に行こうとしても大回りして行くのであまり乗られなかったという事例もあった。

## 事務局

- この検討案は一回りするものである。一方向型か往復型かは今後の検討となる。また、デマンド型の場合、予約が入った区間だけの運行となるため、ショートカットが可能になり、実質の乗車時間は短くなると考えている。

## 井田委員

- 検討しているのはこの1ルートだけか。

## 事務局

- 今の時点では、ひとまずは1ルートを考えている。対象エリアや時刻設定上、必要であれば2ルートでもよい。

## 猪井会長

- やり方もいろいろあり、コールバックという予約の後に、別の予約が入ると「時間を変えて下さい」と折り返し電話するケースもある。あと、早く到着するという点だが、例えば図書館の場合、早く到着すると本を読むなど時間の調整に困らないが、病院だと予約時間があるので、早く到着する・しないは悩ましいところと思う。そういう意味でこの交通の位置づけが大事なところである。この移動支援で、市民の日常生活を確保したいというところは非常に大きいですが、その中でも主に力を入れていきたいところが何であるかの議論も必要になるかと思う。

## 上田委員

- 予約方法として電話を考えられているが、他にもメール等いろいろある。交通弱者の

方をカバーできるような形でやればいいのかと思います。

○藤井寺は基本的に道路が狭く、対向できないような道がたくさんある。だから、小型バスは必要ないと思う。

○運行方法としては、定期運行が誰も乗らなかったらと考えると、デマンド型がいいのかなと思うがそれぞれに利点があり、判断が難しい。

#### **猪井会長**

○定期運行すれば予約はいらないが、乗っていない便のことを考えると不定期がいいのではというところ。来年度、実証運行してみるところとして、路線定期かデマンドかどちらがよいか。

#### **坂部委員**

○予約制にして無駄のない走行、距離の短い方法をとった方がお客様にとっても便利がいいのではと思う。

#### **谷口委員**

○電話での予約について、高齢者によっては予約の電話をするのが難しい人もいるし、身体障害者の方でも電話ができる人とできない人がいると思う。

#### **猪井会長**

○予約方法は、最終的には運行する事業者との調整になると思う。指摘のとおり、電話が難しい人からすると定期的に回ってくる方が楽だと思う。年配者で電話予約が難しいという話が出たが、最初は苦労するが、地元のタクシー会社はこれまでも予約をとってきているので、きちんと対応されている。議論していて、それぞれ良し悪しがあり決定とはいかないが、今後のスケジュールを事務局より説明頂き、本日決めるべきことを確認しようと思う。

### **議事（４）今後のスケジュール案**

＜事務局より説明＞

#### **釈迦戸委員**

○実証運行中にも公共施設循環バスを走らせるのか。

#### **事務局**

○前回会議で並走させると新しく走る交通の成果がはっきり見えなくなってしまうという意見を頂いていたので、公共施設循環バスから切り替えて実証運行に移りたいと考えている。

#### **上田委員**

○当分は定時定路線でやったほうが分かり易いのではないかと。一般の人に、「こういうのができたので申し込んで下さい」と言っても、どこへ何をすればいいのかよく分からない。それを役所がするのではなく、タクシー会社などの事業者がやるのであれば、粗末な対応になるのではないかと懸念される。

#### **谷口委員**

○羽曳野市に在住の人が藤井寺市役所に来る際に、公共施設循環バスを利用されている。事前に公共施設循環バスが変わることを周知しておく必要もある。

#### 猪井会長

○ご指摘の通り「こう変わる」という広報はきちんとしていけい。事務局として大変だと思うが、大事なことなので知らないということがなくなるよう努めないといけい。また、なぜこれを行ったのかという説明をしないといけいと思う。

#### 上田委員

○実証運行は10月からやる予定としているが、公共施設循環バスをいつまで走らせるのか。

#### 事務局

○実証運行を開始するタイミングで切り替えようと考えており、周知方法についてもしっかりと考えないといけいと思っている。

#### 猪井会長

○今の公共施設循環バスに近いということもあって、路線定期がいいのではないかと意見もあるが、他に意見はあるか。

#### 坂部委員

○今走っている公共施設循環バスを見直す必要があるということでこの会議で議論しているはず。もしこのまま公共施設循環バスと同じ定時定路線で進めてしまうとあまり意味がないのではと思う。そのための改善方法として、車両の入れ替えや経費の削減などで無駄をなくすべきだと考える。

#### 小森委員

○路線定期運行で今乗られていない実情があるのであれば、デマンドに切り替えてやってみるのもいいのではと思う。今後、利用率を見ながら、セダン型かワゴン型の検討をしていくのが一番現実的ではと思う。

#### 上田委員

○大きな変化は実証運行になったら有料になることである。今は無料なので「こう変わった」ということを示す必要がある。

#### 事務局

○多目的での利用、事業の持続性、受益者負担の観点から有償運行を考えている。  
また、現状、病院の予約などで午前中の予約が多いことや、この逆で予約が入らない時間帯もあるとの話も事業者からは聞いており、その辺りのバランスを見て、実証運行の中から課題を汲み上げていけたらと考えている。

#### 猪井会長

○今までの議論から、運行方法としては「路線不定期で検討していく」ということでよろしいか。

#### ・ 全員了承

#### 猪井会長

○それでは実証運行は「路線不定期」で運行していくこととする。  
○車両についてだが、小型バスで走るには難しいところもあり、小さい方がいろいろな

ところに入進していけるが、主な差は道明寺会館に近づいていくことか。

#### 事務局

○そのとおり。本日お示ししている案での違いはこの部分になる。今後のルート検討の中で、1便あたりの運行時間をみながら、もっと住宅地に入っていけるかなど検討していきたい。

#### 猪井会長

○使う車両として、資料のセダン型はクラウンのような写真が載っているが、ジャパントクシーのサイズはどれくらいか。車両数としては、藤井寺市内ではどちらの方が多いか。

#### 坂部委員

○サイズはクラウンと同じ。車両数は半々くらい。

#### 猪井会長

○ジャパントクシーの場合、車いすが乗る場合は介助される同行者1名しか乗れなくなる。障害者の方の交通もこれで全部対応するのか。

#### 事務局

○今後、福祉部局と調整・連携しながら進めていきたい。

#### 谷口委員

○今の公共施設循環バスでも、2台走行しているうち、1台のみが車いす対応可となっている。この点についても考慮してほしい。

#### 猪井会長

○公共施設循環バスで車椅子をどれくらい運んでいるか実態は分からないか。

#### 事務局

○今は分からない。次回の会議に報告する。

#### 猪井会長

○車両のタイプによって、車いす対応可能した場合、乗合ができなくなるパターンがあり、車両数が足りなくなるなど様々な課題があり難しいところである。

#### 坂部委員

○補足だが、ジャパントクシーは車いすごと乗れるが、これには条件があり、車両横の余裕幅が1.5～2.0m確保しないと乗せることができない。そのため、停留所の位置はかなり限定されることになる。後ろに車いすを畳んで入れることはできる。

#### 猪井会長

○車両のタイプで乗りやすさ・乗りにくさが様々だが、ジャパントクシーを含めたセダン型で一度検討していくということによろしいか。

#### ・全員了承

#### 猪井会長

○では、次回会議に向けて「路線不定期×セダン型」で進めていきたいと思う。セダン

型は4人しか乗れないが、定員以上の時は増車するのか。

**事務局**

○事前予約で定員以上の場合に増車できるかどうかは今後の運行事業者との協議になると考えている。

**猪井会長**

○増車が定常化するとワゴン車になるかもしれないが、利用が定着するのであれば一部を定時定路線化することも含めて、実証運行をしながら考えるのがいいと思う。  
○運賃も安い方が住民には望ましいとは思いますが、今回は他の交通手段との関係性などで考えられている。基本的にはその場で支払ってもらうことを考えると100円単位が払いやすく、デマンドであれば300円という案になっている。

**釈迦戸委員**

○運賃の支払い方法は現金か。

**事務局**

○今のところは現金のみを考えている。

**猪井会長**

○実証運行では現金収受かなと思う。他の支払い方法は本格運行時に検討することになるかと思う。

**水井委員**

○実証運行を6ヶ月実施し、改善事項があれば変えていくのか。

**事務局**

○対応できるところは変更していきたい。6ヶ月ではなかなか見えてこない場合は実証運行の延長も必要かと思う。

**猪井会長**

○正直、1年やってみないとわからないとは思いますが、ひとまずは6ヶ月やってみようというところ。その他事務局から議論しておいてほしい点はあるか。

**事務局**

○運行計画を決めていく中で、叩き案を「議事3」としている。今回、運行形態と運行車両を概ね決めることができたので、その他の運行日・運行時間帯・運賃など、意見があれば次回に発言頂ければと思う。

**常元委員**

○新しい運行路線を走る場合、道路や交通安全施設等の改良事項が出てくると思う。暗い所には街灯などを設置することも検討してほしい。  
○住民への広報もきめ細かくやってほしい。

**猪井会長**

○大変重要な安全に関する指摘を頂いた。この運行ルート案の道路は全て市道か。

**事務局**

○府道も運行する。

**猪井会長**

○府道も運行するという事は、富田林土木にも協力いただくところもある。ぜひよろ

しくお願いしたい。

○今回も大変有意義な議論ができたと思う。次回以降は停留所案などについて、もう少し詰まった内容で議論し、10月の実証運行を目指して進めていきたいと思う。

#### 4. 閉会

##### 事務局

○次回第4回の開催につきましては、3月頃を予定しており、日程等が決まり次第、事務局より案内する。

以上